

SAUNA（フィンランドのサウナ）が開かれた。フィンランド大使館が共催、メトスなどが協力し、国内外から約300人が参加した。

シンポジウムの冒頭、石井所長は世界で使われるフィンランド語の“sauna”の説明と、日本でのフィンランドサウナブームの現状を紹介した。

この後、坂口大史氏（日本福祉大助教）と垣野義典氏（東京理科大准教授）が文化や歴史的背景、進化する建築、鷹野敦氏（鹿児島大准教授）は伝統的なスモークサウナ、森太郎氏（北海道大准教授）は環境特性について、シンポジウムのテーマに沿って学術的な視点からの考察を交えてフィンランドサウナの建築や文化について解説した。さらに、フィンランド在住のグラフィックデザイナー・遠藤悦郎氏は、ヘルシンキの貸し切りサウナから中継で参加。サウナの雰囲気と熱気をリアルタイムで伝えるとともに、火照った身体を凍った海に飛び込んで冷ます豪快なサウナの楽しみ方などを実演し、オンラインならではの臨場感のあるシンポジウムとなった。

## サウナの建築 や文化を解説

### 東北工大北欧デザイン研

東北工業大学北欧デザイン研究所（所長・石井敏建築学部長）が主催するオンラインシンポジウム「SUOMIの

